

# 女君の視点から読む源氏物語

～物語を流れる主旋律「紫のゆかり」とは～

源氏物語五四帖は、帝の御子・光源氏を主人公とし、その在世中と次世代の宇治十帖までの王朝ロマンを描く、日本文学史上の最高傑作です。千年の時を経て今も輝き続ける『源氏物語』の主旋律「紫のゆかり」。登場する女君は、源氏の母である桐壺の更衣、母に生き写しで源氏の生涯の思い人藤壺宮、藤壺宮によく似ている姪の紫上、同じく姪の女三宮。

この機会に大河ドラマ「光る君へ」の史実に迫り、平安時代に思いをはせながら、珠玉の名作を新たな感覚で楽しく学んでみませんか。

入場無料

日時 令和6年11月30日(土)

10:00～12:00

場所 武蔵野市立市民会館

男女平等推進センター会議室

武蔵境駅徒歩5分（武蔵野市境2-3-7）

定員 30名（申込順）

講師 竹内 寿恵子

かこつべきゆゑを知らねばおぼつかないかなる草のゆかりなるらむ  
紫上



日本女子大学文学部国文学科卒業（卒論は樋口一葉と明治女性史）  
高校国語科専任教諭として31年間現代文と古典を教える。2015年6月武蔵野市の主催で「ジェンダーの視点から読む源氏物語」の講演を行い、翌月から現在に至るまで、むさしの男女平等推進市民協議会主催「源氏物語講座」の講師を務めており、樋口一葉作品の朗読会も行っている。また、桜楓会各支部や地方自治体でも源氏物語を講演している。特に「母と娘の関係から読み解く源氏物語」をはじめ、登場人物の心理描写に力点を置き、時代背景や原文講読等も取り入れ、わかりやすい講演に努めている。

お申込み

桜楓会武蔵野支部

メール: mu.ofukai@gmail.com  
TEL: 090-8805-2644(竹内)

